

子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

つつみ @ 通信



石破総理が辞意を表し、自民党の総裁選が告示され5人の候補者が立候補されました。この@通信が届く頃には新しい総裁が決まっていると思いますが、どなたが総裁になったとしてもその後に日本が世界に堂々と渡り合えるかが重要だと思います。保守合同の結党から70年自民党は日本の政権を担ってきました。その間様々な課題がありましたが個性豊かな政治家の先輩達がぶつかりながら日本を引っ張ってきました。今は世界のパワーバランスが崩れつつあり、かつて無いほど政治のかじ取りが重要な時代です。今こそ日本の未来のために党派を超えて団結し、正しい日本がつけられることを願います。

【2025年9月24日 熊本県議会9月定例会 堤泰之一般質問 6項目】

9月22日に一般質問に臨みました。①子ども食堂とフードバンクの活動について②県育英資金とくま活サポートの運用状況について③熊本県のいじめ対策について④熊本都市計画区域マスタープラン及び区域区分の見直しについて⑤災害時の生活用水の確保について⑥新型コロナワクチンの有効性と新型インフルエンザ等対策行動計画改定について、の6項目。【熊本県議会インターネット中継】「議員名から選ぶ 堤泰之」をご覧ください！



書籍紹介



『「学校」をつくり直す』

苫野一徳/著

今や日本でも著名な哲学者、教育学者の熊本大学教育学部、苫野一徳准教授が6年前に書かれた本ですが「探求」を中核にする学習や、「同学年」という枠組みを超えて、それぞれの生徒の興味・関心やペースに合わせた教育の提案、教員養成の抜本的改革など、国内外の教育改革で重視されている内容が網羅されています。少子化の中で子ども一人一人の生きる力が大切な時代に、教育改革が進む事を願います。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974年7月7日 熊本市中央区水前寺のツツミ薬局の5人兄弟の長男に生まれる。

【学校】託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本YMCA学院建築科卒

【経歴】現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成18年に開業・現職

2022年5月の熊本県議会議員選挙熊本第一選挙区補欠選挙にて20033票で初当選、2023年4月、10,789票で2期目当選

【資格】宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター（相続対策専門士）・2級建築士・CFP（国際認定FP資格）・防災士

今月の数字

熊本県の新型コロナワクチン副反応疑いによる死者

26名（令和7年5月26日時点）

新型コロナウイルス感染症の令和5年5月の5類移行までに報告された県内感染者は約53万人超、死者は1,317人。それに対し新型コロナワクチン接種の副反応疑いのあった方は587名、そのうち死者は26名、障害5名、重症167名となっています。時間とともに報告数が増えました。これを受けて今年3月に改定された新型インフルエンザ等対策行動計画改定では平時の備えを強化し役割分担や訓練を具体化。ワクチンを重要項目に追加し平時から接種体制を整備する準備と訓練を進めることが明記されています。